

平成29年5月 データから見た業界の動き

■ 概 況

平成29年5月の山梨県内の全業種のD I 値は、前年同月比では売上高18ポイント、収益状況6ポイント、景況感12ポイントとそれぞれ改善した。

前月比で比較すると収益状況は8ポイント、景況感は4ポイント悪化しているのに対し、売上高は10ポイント好転する結果となった。

5月になり官公庁発注の仕事が出始めてきているが、人手不足の状況が広がりを見せており技能・技術者の不足により受注を断る企業もあるとの報告がみられた。

経営者の高齢化による事業承継問題、製造業や建設業等の分野に精通した知識労働者、専門職の不足などは深刻化しており、人材不足・人材育成は商業・サービス業含め全業種の課題となっている。

経済環境については中国市場の復調に伴い、輸出関連の好転が期待されるが、人材確保に係る経営コスト上昇と国内需要の伸び悩みから、中小企業の先行きは依然として不透明感が強い。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製 造 業

食料品 (水産物加工)	ギフト関係は前年同月比を上回ったが、ホテル・レストラン・居酒屋向けの業務用が大きく落ち込み、全体の売上は前年同月比98%。
食料品 (洋菓子製造)	量販店、専門店向けは横ばい、OEMは焼き菓子が好調のため全体の売上は前年同月比111%。
食料品 (麺類製造)	4月10日が「ほうとうの日」に決まったことから、消費拡大につながる事業を検討していく。
食料品 (パン・菓子製造業)	雇用人数は前年同月比で3名増加したが、人員不足は解消されていない。人材確保が課題。
食料品 (酒類製造業)	甲州ワインの評価が高まり、アジア市場への輸出増により、輸出企業を中心に景気が浮揚している。
繊維・同製品 (織物)	秋物ネクタイは6月初旬納期で稼働しているが、クールビズのため各社様子見の模様である。
窯業・土石 (砂利)	大型公共工事のある地域を除き骨材需給の動きは少ない。この状況はしばらく続くと考えられる。
窯業・土石 (山採石)	骨材価格の変動はみられないが、コンクリート製品の売価の低下が発生している。全国的に骨材価格の値上げを検討していることから、本県においても検討課題としていく。
鉄鋼・金属	設備を新たに導入し前年同月比10%売上の改善。

一般機器	自動車部品や半導体部品の輸出が少しずつだが上向き傾向。
電気機器	同業者の廃業から、今後、安価な受注競争が予想される。
宝飾(貴金属)	業界全体が低調のため、資金繰りも厳しい。

● 非製造業

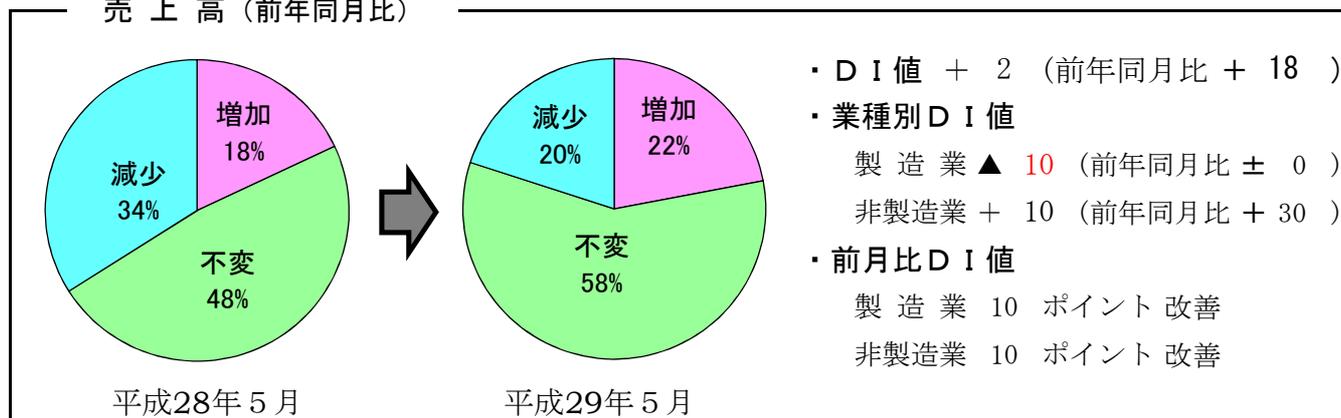
卸売(ジュエリー)	国内の流通は低迷。神戸で開催した国際宝飾展では、来場した海外バイヤーには高級品より低価格品の引き合いが多かった。
小売(石油)	4月1日に石油元売会社が合併により誕生し、需給が改善されることを期待する。
宿泊業	GWは後半になると宿泊が減少した。甲府中心部の大型ビジネスホテルオープンに伴い周辺宿泊施設への影響が懸念される。
美容業	固定客の高年齢化により売上の停滞又は減少が課題。
廃棄物処理(事業系)	行政の企業誘致の際に企業から排出される廃棄物の処理に関する事前対応が甘く、稼働後の処理費用や処理方法に企業側が苦慮しているため、行政と企業とで検討を行う必要がある。
警備業	年度初めは仕事量は少なかったが、5月は公共工事の前倒し等により仕事量は増加した。しかし警備員の高齢化、人材不足により受注につながらない業者もあった。人材確保が課題。
建設業(総合)	5月の県内公共工事動向は、前年同月比で件数10%、請負件数17%それぞれ増加している。5月末累計では件数は同数、請負金額は13%減少した。
建設業(型枠)	5月となり仕事が増加し、GWを返上した事業者もあった。この現象は年度内は続くと考えられるが、技術者不足や工期短縮のため別工法への設計変更が行われ型枠工事は確実に減少し、来年度以降を危惧する者もいる。
建設業(鉄構)	技能者・技術者の人材不足がある。工事量や稼働率も企業格差がある。首都圏を中心とした物件に依存する傾向が続いている。
設備工事(電気工事)	例年に比べ仕事量が少なく先行不透明。
設備工事(管設備)	新設住宅等の増加により収益につながった。若者技術者の確保が課題。
運輸(タクシー)	甲府市内でワインイベントが行われ、参加者は多かったがタクシー利用は少なかった。夜の利用者も少なく、先行不透明。
運輸(トラック)	小口、中小ロットの輸送依頼の増加から、共同配車が常態化している。運賃・諸料金をはじめ物流業務全般について費用の見直しを始めている。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

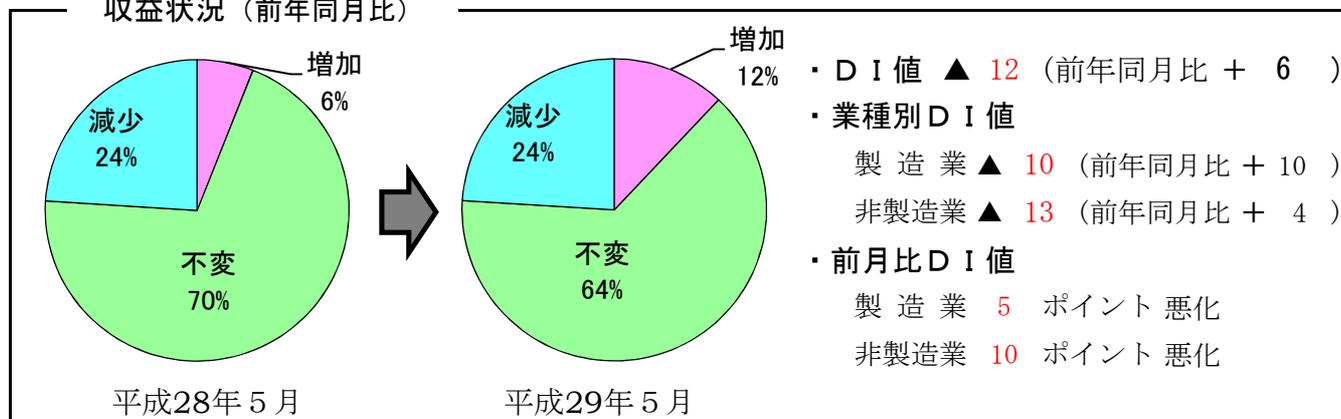
対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2016/5	2017/4	2017/5	2016/5	2017/4	2017/5	2016/5	2017/4	2017/5
売 上 高	-10	-20	-10	-20	0	10	-16	-8	2
収 益 状 況	-20	-5	-10	-17	-3	-13	-18	-4	-12
景 況 感	-25	-5	-5	-17	-3	-10	-20	-4	-8

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

売 上 高（前年同月比）



収 益 状 況（前年同月比）



景 況 感（前年同月比）

